

## 千葉都市モノレール延伸計画について

千葉市では、延伸凍結としていた、モノレール病院ルート（県庁前駅～市立青葉病院間）について再検証の結果、延伸計画を廃止とし、稲毛ルート（穴川駅～JR稲毛海岸駅間）については、検証の結果、モノレール導入は行わないことを決定しましたのでお知らせします。

### 1 経緯・趣旨

- ・千葉都市モノレールは現在1号線（千葉みなと駅～県庁前駅、3.2キロ）、2号線（千葉駅～千城台駅、12キロ）の計15.2キロの区間で営業しており、1日当たり約5万3千人の利用がある。
- ・1号線の延伸計画については、平成14年に千葉大学病院を經由する直線的ルートとする提言がされた。
- ・平成18年に、千葉県、千葉市、モノレール株式会社の3者間の協議により、千葉県はモノレール事業から撤退することとなり、新たなスキームにより会社再建が行われた。
- ・平成21年に、1号線延伸計画については、多額の建設コストがかかることや、モノレール株式会社の経営状況等様々な課題があることから凍結としたが、地域公共交通網形成計画策定に先立ち、骨格交通であるモノレールの延伸可否について決定する必要があることから、平成29年8月の「脱・財政危機」宣言の解除を受け、検証を行い方針を決定したものである。

### 2 再検証の結果

#### (1) 費用便益比（総費用に対する総便益の比率）からの検証結果

費用便益比について算出したところ、病院ルートについては0.87、稲毛ルートについては0.73となった。

※費用便益比は、1.0以上であれば総便益が総費用より大きいことから、一般的には妥当なものと評価される。

#### (2) モノレール会社の経営に対する影響

長期経営収支計画を基に、延伸した場合のモノレール株式会社の経常収支について推計したところ、延伸した場合は、新たな資金需要が必要なことから、経営状況に影響が生じることが明らかとなった。

#### (3) 有識者の見解

公共交通の有識者2名より、検証手法や結果について評価を得ている。

### 3 結論

- ・モノレール延伸計画、通称病院ルート（県庁前駅～市立青葉病院間）については、再検証の結果、延伸計画を廃止とし、都市計画法に基づく諸手続きを進める。
- ・稲毛ルート（穴川駅～JR稲毛海岸駅間）については、検証の結果、モノレール導入は行わない。

### 4 添付資料

千葉都市モノレール延伸計画検証結果について

【URL】 <http://www.city.chiba.jp/toshi/toshi/kotsu/>

(参考 千葉都市モノレール路線図)

